

## 令和5年3月定例会 一般質問 中村良路議員

※代表質問・一般質問の会議録より抜粋し掲載しております。（各議員からの「質問」（問）に該当する部分を黄色マーキングしております。）

### 「地域公共交通について」

○中村良路 1つは、香芝市の地域公共交通と市内の交通安全対策の取組の2点を質問をさせていただきます。

このデマンド交通に関しては、午前中、中井議員から少し質問がございました。しかしながら、私の思っているんじゃないし、私は視点を変えながら質問をさせていただきます。少しはかぶるかも分かりませんが、その辺もよろしくお願ひいたしたいと思ひます。

では、まず最初に香芝市地域公共交通のデマンド交通、コミュニティーバスについての質問でございます。この質問をするに当たりましては、公共交通活性化協議会にて協議されていることは認識をさせていただいている、その上で質問をさせていただきます。

市民は、デマンド交通においては、なぜ指定された場所にしか行かないのかという、そういった疑問を持たれております。どこへでも自由に乗り降りできたほうが便利でいいんじゃないかというふうにも言われます。そういうことで、それを言われたそこで私はそのことに対して、やっぱり民間のタクシー会社もあるので、市が民間を圧迫するようなことはできないというふうな説明をさせていただきますと、ところで中村さん、あんたは一体どっちを向いてしゃべってんのやっというとも言われるようになっております。そんなことを聞きながら、確かに私は市民の代表としてこの議会に出させていただいている以上、市民の声を議会のほうに届けていくということで今回のこの質問をさせていただきます。

まず、デマンド交通についてお伺ひしたいと思ひます。

香芝市デマンド交通は、平成27年4月より本格運行を開始されております。病院に行きたいけど車の免許がない、平日は家族が車を使うので買物に出かけられないなど、そんな皆さんに利用していただきたい香芝市の公共交通ですと趣旨的なことが書かれております。それであれば、スーパーマーケットとは言いませんが、せめて隣接する自治体にある、例えば主要な病院、高田の市民病院など、そんなところにも行くことはできないのかなということを壇上からお聞きをしたいと思ひます。このデマンド交通、コミュニティーバスの質問をさせていただく、危機管理監、これが僕の最後の危機管理監に質問させていただく課題かなというふうに思ひますので、ぜひともよろしくお願ひをしたいと思ひます。

それでは、壇上からの質問とさせていただきます。

**○危機管理監兼生活安全部長** 隣接するスーパーと市外の病院等、今ご質問ございますけれども、香芝市全域の交通ネットワークの在り方を示すものとして、令和3年3月に香芝市地域公共交通計画を策定したところでございます。また、それにのっとり現在進めているわけでございますけれども、地域公共交通には既存の鉄道であったり、バス、タクシー、そして香芝市が運行するコミュニティーバスとデマンド交通があるといった中で、それぞれが役割分担することで持続可能な公共交通が維持できるものと考えております。市民の移動特性に応じた適材適所の地域公共交通サービスの提供を目指しているところでございます。

コミュニティーバスとデマンド交通については、お昼の時間帯であったり、市内での買物、通院などの日常生活を支えるべき位置づけをしてるものでございまして、市外への移動については鉄道、路線バス、タクシーをご利用していただくといった前提で進めてまいっているところでございます。

**○中村良路** ありがとうございます。もう十分分かっておるところでございます。ありがとうございます。しかし、今後ますます高齢化が進む中で、免許証を返納する高齢者も増えてくるかも分かりません。今後利用度も増すのではないかと、そのようにも思うところでございます。冒頭延べましたように、市外の病院にも行けないのかなどの要望を市民から聞いたことが、そういったことはあるのかどうか、その辺をお聞かせください。

**○危機管理監兼生活安全部長** そういった市民の皆様の声は、今回の計画策定に当たって市民アンケートであったり、利用者アンケート等を取らせていただいている中ではそういった意見もございました。

以上です。

**○中村良路** 分かりました。そういった意見があったということでございますが、私も何人の方からもそういうことを聞いたことがございます。免許証を返納するのは当然年齢にも応じて仕方ないところですが、自分も病気を抱えてたらやはり病院に行くのが一番困るなというのが切実な思いでございました。そんなことを聞いたら、やはり何とかならないのかなという思いが募るばかりでございます。このような方のためにも考えることが改めてできないのか、その辺をお聞かせいただきたいと思っております。

**○危機管理監兼生活安全部長** 現行の公共交通計画の中におきましては、市外に出ていくといったことはできないものになっており、市内の医療機関に対しましてはデマンド交通の利用といった形で対応はできるものと考えております。

以上です。

**○中村良路** 分かりました。再三同じことを申し上げるのもなんですが、市長の施政方針の中

でも高齢者の運転免許証自主返納の促進に取り組むというふうにも掲げてました。したがって、返納される方が増えるかも分かりません。その辺は私のほうからご理解をしていただきたいというふうをお願いいたします。

それでは、次に質問させていただきたいと思いますが、公民館でのサークル活動などでは当然利用できますが、個人的に家庭で教室、例えば手芸教室とか料理教室など、そういったことを開かれていますところがあります。そんなところに行くことは当然できませんが、これではやはりそういった付き合いも希薄にだんだんなくなるかなというふうにも思いますし、ますます孤立もするのではないかと、そのように思いますが、これについてはどのように考えられるか、その辺をお聞かせください。

○危機管理監兼生活安全部長 先ほどの答弁の繰り返しにはなりますけれども、まず既存の公共交通というのがございますので、そういった補完的な意味で香芝市のコミュニティーバスであったりデマンド交通を行っているといった状況でございますので、個人宅から特定の個人宅といった件に関しましてはタクシーをご利用していただくといった形になるかと考えます。

○中村良路 分かりました。当然これも分かりながらお聞かせをさせていただいてるというのでご理解をしていただきたいと思います。私はあくまでも市民がそのようなことも思われているということを伝えていきたい、そういった思いでございます。

さらには、そういったことで、できないということで近所付き合いが希薄になるか、また今後の核家族化で独居も増えてきます。近所の人とは会話はしない。家でも話すことはない。しかし、市内の離れた地区にはお友達がいる。そのような、電話でも済むはずなのですが、やはり会って直接話をしたいと思ったときに手段として民間のタクシーですが、それでは料金が高つく。度々行くことができない。だからこそデマンド交通タクシーを利用したいというふうにも思われております。こんなような市民の要望についてはどのように応えていけるのか、その辺をお聞かせいただきたいと思います。

○危機管理監兼生活安全部長 核家族化、高齢化する中でのそういった福祉的な要望でございますけれども、現状デマンドタクシーにおきましては市内で280か所の乗降場所が設置されているところでございます。なお、各地区の公民館であったり集会所というのは基本的に乗降場所となっておりますので、お近くの乗降場所を利用していただくといった形をお願いしたいと思います。ご理解のほどよろしく申し上げます。

○中村良路 分かりました。再三再四、分かっていることをお願いしているというのでご理解ください。

それでは、今言われたように、お近くの乗降場所と言いますが、近くというのはどれぐらいの距離をいうんかというのは、これが終わってから、またどれぐらいの距離が近いんかってい

うのだけ教えてください。

それでは、次の質問でございます。

子育て家庭において、家に車が1台しかなくて、その車は夫が仕事で乗っていった。このようにときに用事ができてしまい、遠くの友人にしか子供を預けることができない。こんなときにもデマンド交通、デマンドタクシーを利用することができれば本当に費用も安く済みます。このような要望についてもどのように考えられるのか、お答えいただきたいと思います。

**○危機管理監兼生活安全部長** 子育て世帯等、いろんなケースがあろうかと思います。現状デマンド交通については、事前の登録と利用したいときにおける電話予約といったことが必要なサービスでございます。また、予約については1週間前から行っているという状況の中で、今中村議員おっしゃった急に云々ってなってきますと、私もちょっとつらいですけど、そんなときこそタクシーを利用させていただくケースかと考えております。

**○中村良路** 分かりました。急にといったところで、そんな今すぐということではない急という意味で私は言ったということでご理解ください。最終的には、個人の家に行くというのは今ではできないというのは当然私も分かっているし、聞かせていただきました。

それでは、さらに同じ市内の友人が自宅に来て、その方も登録をされてると、ともに登録されているという自宅に来られて、そのときに一緒に買物に行かかというときに、そういったときにデマンド交通を利用したくても、それもできないみたいな感じですよ。このあたりでも利用できるようには考えられないのかということですが、その辺はどうでしょう。

**○危機管理監兼生活安全部長** ご本人さんとそのご友人の方がともに市内であって、ともに事前登録がなされている場合でありましたら、30分前までの予約は可能となっておりますので、なかなか難しいと思いますけど。

以上です。

**○中村良路** 分かりました。その家の人だったらその家から乗れるけども、例えば友人の家にいてたら多分乗っていけないというふうに私は理解してるから、その辺だけまた調べておいてください。そういう感じやと思うし、せやから同時に同じ家からは出られないっていうのが、何ぼ自分かて登録しててもそんな状況かなっていうふうに思います。今までもせんど言わせていただきましたが、主には買物や通院など日常生活を支える市内の移動手段として位置づけられておるのに、友人と一緒に本当に行きたいんやけども行けないということで、残念でございます。

それでは、次の質問でございますが、個別の家へ止まるようにならないかという質問ですが、それでは民間のタクシーを利用してくださいと先ほどから再三言われておることでございます。冒頭でも申し上げましたが、私自身が行政が民間を圧迫してはいけない、民間の仕事を取って

はいけないというふうな理解もしております。しかし、一市民は民間を行政が圧迫してはいけないということは全く理解をされておらない、それは当然でございます。それならデマンド交通をする必要がないのではないかと、そんな極端なことも言われます。なぜ個別の家で止まれるようにお願いするのは、現在デマンド交通タクシーを運行している。だからこそ言うんですよということを言われます。せっかく運行するなら、さらにその辺の改善をしてほしいとお願いをされております。というのが、今まで私が質問させていただいた市民の本当の声だというふうに受け止めていただきたいと思います。

それで、改めてお聞きいたしますが、個別の家で止まれるように、これは最後です、考えられないか、よろしく願いいたしたいと思えます。

**○危機管理監兼生活安全部長** まず、第1問目の回答になりますけれども、あくまでも既存の民間が行う公共サービスも含めた中で、それを最大限活用して、補完的な位置づけとして香芝市が地域公共交通のサービスとしてコミュニティーバスとデマンド交通を行っているといった観点でございますので、逆にそれによって民間業者が淘汰されるなんていうことは、それこそ本来の目標とは違ってくるといったところでございます。

**○中村良路** 分かりました。官民共に活性化していくのが一番いいことだと、そのようには私も理解をしておりますが、先ほど言うように、市民というのはそういうところは本当に理解をされてないっていうのが大抵の方だと、そのように思っております。だからよろしく願いを申し上げます。今までも市民の声として言わせていただきました。

それでは、デマンド交通タクシーでこれまで市民が多く利用されている施設はどこにあるんでしょうか。その辺をお聞かせください。

**○危機管理監兼生活安全部長** 一番利用の乗降をされてるのは、やはり総合福祉センターとなっております。続いて、商業施設ではエコール・マミさんであったり、医療機関では香芝の旭ヶ丘病院となっております。そんなところです。

**○中村良路** 分かりました。

それでは、そういったところにデマンドタクシー交通はスーパーマーケットや、そういった医療機関などに止まるようにされておりますが、そういった施設に協力金とかというふうな感じのお願いはできないのかなって、運行するに対しての協力金、そのように思いますが、どうでしょう。

**○危機管理監兼生活安全部長** デマンド交通の乗降場所については、広く市民さんの共通の利用があるといったところに設けてるわけでございますけれども、その乗降場所につきましても、活性化協議会の審議を経た中で行政のほうからお願いしているといった状況でございますので、先から協力金を取るといった考えは今のところございません。

○中村良路 分かりました。公共施設以外の民間の施設といえば、先ほど言うたようにスーパーとか医療施設とかというふうにも考えられます。そういった、言わばやはり商売をされてるというのが前提だと思います。人が行くことで、変な言い方をすれば、もうけておられます。だったら少しぐらいの協力金ぐらいはお願いしてもいいのではないかというふうに考えるところでございます。バスやタクシーを運行するにもただではできません。やはり費用がかかっております。運賃だけでは当然賄い切れません。少しでもそういったことを補填するのも、やはり協力してもらい、お互いに協力をでき合いっこをするっていうのなら乗降できる場所の協力をしていただいている考えですが、逆にお客さんを連れていってるといふふうな、そういった考えにはならないのか、その辺をよく考えていただきたいと思います。結構です。その辺は考えてください。

次の質問ですが、土日祝、年末年始は運休、運行時間は9時から4時半までということですが、その土日祝と、特に年末こそ出かけたいときだと、そのように思うところでございます。休業日や時間帯などについては変更してほしいという、そんなような話やら要望はございましたかどうかお聞かせいただきたいと思います。

○危機管理監兼生活安全部長 そういったご意見は正直でございます。ただ、もう何回も繰り返になりますけれども、民間事業者などのサービスを補完しながら地域の公共交通を形成していく観点に立って行っている事業でございますので、休日であったり、そういった時間帯については外してるものでございます。

○中村良路 よく分かりました。

それでは、香芝市地域公共交通計画で策定の目的という中には、人々が自立した生活を営む上では移動は欠かせないが、人口減少、少子・高齢化など公共交通を取り巻く状況は厳しさを増しています。公共交通ネットワークの縮小やサービス低下がさらに公共交通事業者を減少させ、負のスパイラルに陥っている。このままでは地域で公共交通が成り立たなくなるという指摘もされるようになってきた。地域公共交通の維持、改善は交通分野の課題解決にとどまらず、まちづくり、観光、健康、福祉、教育、環境などの様々な分野で大きな効果をもたらすと、そのようにも書かれております。

今までの答弁では、あれも駄目、これも駄目ということしか耳に入らなかったところですが、人々が自立した生活を営む上ではやはり移動は欠かせないという、移動という効果も考えれば、少しは前向きな答弁をしていただけたんかなというふうに、今ここでは決めかねるところもございしますが、そういった考え方も持たれたんではないかというふうに、そのようにも思うところでございます。ありがとうございます。結構です。これはもうこれで終わらせていただき、次のコミュニティーバスということで質問させていただきます。

これも、中井議員がコミュニティーバスについては少し触れられておりますので、私のほうからまた改めて、私の視点で質問させていただきますのでよろしくお願いします。

令和5年1日より、新たなルート、ダイヤによりリニューアル運行がされ、現在は以前のバスに比べて図柄もかわいくきれいになり、香芝市として運行されております。これも市民の声として私のところに届いているのが、公共バスは家の前や近くは通っていますが、バス停まで遠いので行くことが大変困っている。バス停以外でも、手を上げたり声をかければ止まって乗降してもらえるようにしてほしいなどの要望も届いております。それについてはどうでしょうか。中井議員のこともありましたので、答弁をよろしくお願いを申し上げます。

**○危機管理監兼生活安全部長** 特にコミュニティーバスは、デマンドで行っておりますタクシー車両よりもさらに大きな車両でございます。安全性の観点から、自由乗降といったものは香芝市内には基本的になじまない。その件につきましては、地域公共交通活性化協議会においても過去に協議し、また警察との協議の中で極力安全確保に努めると。全国的にも縮小傾向といったものでございます。

**○中村良路** 分かりました。

それでは、コミュニティーバス運行経路で一般の車の運行が少ない住宅密集地を通過する場  
合については、バス停以外でも手を上げたり声をかければ止まって乗降してもらえるよう  
なことはできないのか。たまたま私が穴虫のほう、五月ヶ丘にいるときでございますが、住宅地  
の中をコミュニティーバスが通過するのを見ました。それであれば、その通過するルート上なら  
乗り降りができやすいし、車の通行もほとんどないので乗れるのではないかというふうに思  
いました。そういった考えについてはどうでしょうか、お答えください。

**○危機管理監兼生活安全部長** ここでの答弁のできる範囲ではないんですけれども、そうい  
った意見についてはまた活性協のほうにも事務局として上げさせていただくことは可能かと考  
えております。

**○中村良路** ありがとうございます。こういう、出していただいたら私も納得もできますし、  
市民にもまたそのようにも伝えられると思います。

ということで、日本各地になりますが、ある地域においてはバスの自由乗降が取られてる自  
治体もございます。なぜそこはそういった自由乗降ができるのでしょうか。また、自由乗降区  
間を指定することで乗り降りもできるかなというふうに思いますが、その辺についての考えは  
どうでしょうか。

**○危機管理監兼生活安全部長** 一般論となりますけれども、現在においても自由乗降が行われ  
ているというのは山間部であったり、かなり人口密度の少ないところ、また夜間の特定の時間  
帯等の中で運用されているもので、基本的に自由乗降というのは車両運行の安全もありますし、

乗降客の安全確保といった点からも困難なものと考えられております。

○中村良路 他市の事例も言っていたいただいてありがとうございます。

そういったことで、戦後の団塊の世代がますます後期高齢者になりつつあり、今後ますます高齢化が進み、免許証も返納する人が多くなり、行動が思うようにもできず家に閉じ籠もる高齢者が増えてくるのではないかというふうにも思います。新しいルートなり、バスもかわいくきれいになりましたが、本市以外の隣接する自治体への主要な施設などにも行くことができるようにはならないのかというふうにも考えるところですがその辺はどうでしょう、お聞かせください。

○危機管理監兼生活安全部長 今からお話しすることは、こんなことはあっては困るような話でございますけれども、例えば香芝市の区域内において中核病院として位置づけられている病院がなくなりましたとか、そういった折には移動手段が現状のままでは非常に難しくなってくるといったことから他市町村と連携していくといった可能性というのは、そのときは検討すべき案件だとは思いますが。

以上です。

○中村良路 ありがとうございます。なかなか言いにくいことを答弁していただいてありがとうございます。

それでは、これまでコミュニティーバス、デマンド交通のことを市民が今以上に便利よく利用できないかなどという声を聞かせていただき、質問をさせていただいたわけでございます。答弁については、当然ここでできるというようなこともまず言えないというのはもう十分に理解しております。それなら、私が質問したのは本当に市民が望んでおられる声を、質問をさせていただいたわけでございます。

そこで、これまでの質問について、全てとは言いませんが、今後行われる公共交通活性化協議会、その場において市民の声として伝えていただくことができるのかどうか、その辺を副市長である活性化協議会会長という立場で答弁を願いたいと思います。よろしくお願いします。

○副市長 ご答弁申し上げます。

香芝市全域の交通ネットワークにつきましては、香芝市地域公共交通計画を基に公共交通活性化協議会において種々議論をいただき、これまで改良も重ねてきた中で現行の運行となっております。今後におきましても、利用状況や各種ご意見も踏まえ、公共交通活性化協議会でよりよい公共交通を目指して協議してまいりたいと考えてございます。ご意見ありがとうございます。

○中村良路 ありがとうございます。よりよい協議をしていただきたい。

それで、先ほども申し上げてますが、私がこれまで述べてきたことに対しても発言はしてい



ただけるのかどうかというところだけ再度お聞かせください。

**○副市長** 今まで議論をさせていただいた結果の運行ですけれども、ご意見をいただいておりますことから、そういったところも踏まえ、お話をさせていただきたいというふうには考えてございます。

以上でございます。

**○中村良路** ありがとうございます。ぜひともその声は届けていただきたい。私が議員として市民の声をこのように届けているように、我々も活性化協議会に出ておりませんので、その声はぜひとも副市長である会長のほうから少しは話をさせていただきたいというふうにお願いを申し上げます。

香芝市は行政面積もそんなに多くなく、市内にも主要駅が7か所で香芝インターもあり、大阪市内までのアクセスも非常によい自治体だと、そのようにも思っております。さらに、市内を走るデマンド交通、またコミュニティーバスもあり、移動手段にはほぼ恵まれているのではないかというふうに思うところがございます。しかし、市内の地域によっては狭隘な道路もあり、車の通行にも支障を来すところがあります。また、免許証を持たれてない方や返納された方、歩くことが困難な方なども市内の移動には支障を来されているのかと、そのようにも思います。市民の要望は、行政サービスを今よりさらに利便性もよく、もっと低料金ということを望まれているのかも分かりません。全ての市民の要望や全ての地域を便利よく完璧にすることはできませんが、民間を圧迫することもなく、今の現状より少しでもよくなり、小回りができるような改善ができるのではないかというふうにも思うわけでございます。

自治体の厳しい財政状況を考えると、住民サービスを行うなども制約がされるのではないかというふうに思います。住民サービスを充実させることは、やはり何があっても税収を増やすことしかございません。その手段とすれば企業が本市に来ていただくか、またもう一つの方法としてはふるさと納税も考えられます。あらゆる手段を駆使して、将来を見据えながら知恵を出し合っていただき、香芝市をついの住みかにしようとする市民のためにも、今後の移動サービスを含めた福祉の充実を図っていただきますことを強くお願いをいたしておきます。ありがとうございます。

#### 「市道の安全対策について」

**○中村良路** 昨年11月29日に、奈良県通学路安全対策推進会議が大和高田で開催をされております。その会議の目的は、2012年4月、京都府亀岡市で登校中の児童ら10人が車にはねられ死傷した事故を機に安全対策を進めようと設立されたようでございます。この会議には香芝

市も参加され、安全対策の推進報告、横断歩道やグリーンベルトの設置、道路標示の塗り直しなどの取組例を紹介したというふうに奈良新聞の記事には載っておりました。

そこで、本市の取組事例や対策についてお聞きします。

それでは、会議の内容についてお聞きします。どのような会議の内容でしたか。

**○教育部長** 奈良県通学路等安全対策推進会議では、出席した市町村の取組状況の報告と奈良県通学路等安全対策推進の手引及び通学路デジタルマップの活用について提案を受けました。

**○中村良路** ありがとうございます。そうですね。それでは、県通学路安全対策推進の手引やデジタルマップは市町村の安全対策に生かしてほしいと提案されて、データは共有でき、希望すれば提供すると、そのようにも新聞にも書いておりました。大いに活用して安全に努めていただきたいと、そのようにお願いをしておきます。

それでは、その会議の中で各市町村の取組も報告されたと、そのように思いますが、本市にはない特徴的な報告はされたのでしょうか。お願いします。

**○教育部長** 特徴的な報告といたしましては、本市が報告いたしました関屋小学校区での取組が特徴的であったと奈良県教育委員会からお知らせをいただいております、具体的には関屋小学校の通学路におきまして、踏切を横断していた箇所から近鉄関屋駅構内を通るルートに変更したことが特徴的であると評価していただいたと考えております。

**○中村良路** 分かりました。ありがとうございました。

また、新聞によりますと、奈良、生駒、香芝など7市町村が安全対策の推進を報告と、ほんで横断歩道やグリーンベルトの設置、道路標示の塗り直しなどの取組例を紹介したと書かれてました。今聞かせていただいた答弁でございますが、本市がそのような評価をしていただいたということでございますが、今後さらなる取組を進めていただき、これからも引き続き安全対策に努めていただきたいと、そのようにお願いしておきます。

それでは、道路管理の所管では、市内の危険箇所は全体的に把握されているのでしょうか、お答えください。

**○都市創造部長** 危険箇所の判断につきましては、人それぞれの経験上からの感じ方や見方もございまして判断がつきにくいというところもございます。そのため、市といたしましては、自治会様からの要望や市民の皆様からの情報提供、また通学路合同点検による対策必要箇所を情報共有する中で危険な箇所を把握しているところでございます。

以上でございます。

**○中村良路** 分かりました。危険場所ということで、一概に判断し難いというふうに、そのように考えます。人それぞれ見方も違いますから。目視や情報などを収集し、危険と思われる箇所の把握をよろしく願いをいたしたいと思っております。

それでは、通学路の危険箇所の把握はされているのかお聞かせください。

**○教育部長** 例年夏に、今年度は8月下旬頃でしたけども、通学園路の安全確保のための合同会議を開催しております。開催に当たり、各幼稚園、小学校、中学校及びPTA、自治会に対して通学園路の危険箇所の報告の依頼を行っておりまして、危険箇所の把握に努めております。なお、関係各位には、随時危険箇所の連絡もお願いしているところでございます。

**○中村良路** ありがとうございます。これまで過去にはいろいろと報道されて、通学路で車による事故やブロック塀が倒壊するなど、そのような報道も聞かされました。幼い命が犠牲になっています。二度とそんなことが起こらないように願うところでございます。素早く危険箇所を把握し、安全対策にそれこそ努めていただきたいと、そのように思います。

それでは、本市の道路管理において、特に危険箇所、交差点はどの程度把握されているのかお聞かせください。

**○都市創造部長** 通学路においては、通学路交通安全プログラムの中で危険箇所や交差点を把握しております。また、市民の皆様や自治会様からの情報提供、職員のパトロールにより道路の危険箇所を把握しているところでございます。対策が必要な箇所につきましては、関係機関の協議、要望内容を確認した中で対処しているところでございます。

以上でございます。

**○中村良路** 分かりました。市民や自治体からの情報収集や職員のパトロールによるきめ細かい巡視に努めていただきたいと、そのようにもお願いをしておきます。

現在は、さらに、道路上に塗装されている、危険な交差点やグリーンベルトの塗装、路面標示の設置の状況はどのようになっているのかお聞かせください。

**○都市創造部長** グリーンベルトなどの区画線や路面標示が薄くなり、消えている箇所については、再度塗り替えを行っているところでございます。

以上でございます。

**○中村良路** 分かりました。危険と思われる交差点にベンガラ色で赤く塗られたところとか、そういうところがよくございます。そういったところには必ず安全確認をしようという思いに駆られます。また、交差点の手前には注意というふうなこともよく書いておられるところを通行することがございます。本当にこれは効果的だと、そのように思うところでございます。あと、車の通る頻度によっては本当に消え方の違いはありますが、サイクル的にはどんな周期や頻度で塗り替えを考えておられるのか、それがちょっと気になるところでございますが、とにかく要望があれば速やかに対処していただきたいと、そのように思います。

それから、そのうち新規塗装が薄くなったり、塗装が剥がれたりしているなどの要望は道路管理者の所管としては把握されているのかどうかお聞かせください。

○都市創造部長 グリーンベルトを含む道路標示の要望箇所につきましては、随時公園道路管理課、教育委員会総務課と現地確認を行い、把握しております。また、通学路交通安全プログラム以外の路面標示等については、交通状況などにより、消えている箇所の状況把握は難しいため、自治会要望や市民の皆様の情報提供の中で把握し対処しているところでございます。

以上でございます。

○中村良路 ありがとうございます。こういった情報についても、私も以前にも申し上げ、誰かも、どなたか忘れましたが、ほかの議員の方も、スマホでの対応っていうのはやはり取り入れていただいたほうがいいのかなと、もっともっと効果的になるのではないかなというふうに思いますが、併せてその辺もよろしくご考慮ください。ありがとうございます。

それから次に、自治会などからグリーンベルトや交差点などをカラー塗装してほしいという要望は現在何件ぐらい来ておるのかお聞かせください。

○教育部長 教育部のほうで把握しております件数ですけども、令和3年度と令和4年度合わせまして101か所の要望がございました。そのうち54か所の対策が完了いたしまして、現在のところ47か所が未了箇所として残っている状況でございます。

○都市創造部長 都市創造部のほうですけども、道路管理の所管では、令和3年度の自治会からのご要望は13件ございました。また、令和4年度につきましては令和5年2月時点で6件のご要望がございました。

以上でございます。

○中村良路 ありがとうございます。各所管課に要望が来ておるっていうことでございますが、予算の都合もございますが、未了箇所や要望箇所、そういったことはできるだけ早急をお願いをさせていただきたいと思っております。よろしくお願いをします。

それとあと、参考のためにお聞きしたいと思っておりますが、グリーンベルトや交差点を塗装するにはどのぐらいの費用がかかるのか教えていただきたいと思っております。

○都市創造部長 工事の発注ロットによって費用は若干変わっていきますけども、今年度の発注ロットでいいますと、幅15センチのグリーンベルトを塗装するのに1メートル当たり約1,400円かかっております。交差点のカラー塗装をする場合については1平米当たり約1万円かかりますので、例えば4メートル道路、南北4メートル、東西4メートルの交差点部分でカラー塗装するとなれば16平米ほどになりますので、1か所当たり約16万円ほどかかるとなっております。

以上でございます。

○中村良路 ありがとうございます。結構費用的にかかりますし、これ、道路に車が通ったら消えるっていうのは、もうほんまに消耗品になるんか知らんけど、そんなですね。よろしくお

願います。

それでは、学校やP T Aからの要望は教育委員会にも来てるんかどうか、その辺をお聞かせください。

**○教育部長** 先ほどもありましたけども、通学園路の安全確保のための合同会議、こちらにおいて学校P T A、自治会など関係各位に危険箇所の報告の依頼をさせていただいております。また、随時危険箇所の連絡もお願いしております、そういった情報が集まってきているというような状況でございます。

**○中村良路** ありがとうございます。分かりました。そういった要望も来てるということで、よろしく願いをいたしたいと思います。

特に通学路の危険箇所については、道路管理の所管課と共に協議をされているのか、その辺をお聞かせください。

**○教育部長** 通学路の安全確保につきましては、教育委員会をはじめ市役所内の関係各課、公園道路管理課、生活安全課、土木課、それから香芝警察署、奈良国道事務所、高田土木事務所と情報共有して共に対策について随時協議を行っているところでございます。

**○中村良路** ありがとうございます。あらゆるところと共にされてる意図がよく分かりました。市長施策方針でも、児童が安全・安心して通学、通園ができるよう、香芝市通学路交通安全プログラムに基づき、グリーンベルトや路面標示の安全対策に係る整備を実施し、通学路の安全確保に努めてまいりますというふうにも、施政方針で言われております。ということでございますので、ともに本当に情報を密にして安全対策をしていただきますことをよろしく願いを申し上げます。

それでは次に、道路上のカラー塗装、グリーンベルトなどの費用予算は年間どの程度見込まれておるのかお聞かせください。

**○都市創造部長** グリーンベルトはカラー塗装だけではなく、令和4年度の予算につきましては交通安全対策費として500万円を見ておりました。令和5年度の予算につきましては、交通安全対策といたしまして、新設、維持管理及び設計というふうな形で1,800万円の予算の要求をさせていただいてるところでございます。

以上でございます。

**○中村良路** ありがとうございます。よく分かりました。安全対策に昨年より3倍ぐらいの予算を考えていただいているということで、ありがとうございます。引き続きよろしく願いを申し上げます。

それでは、ちょっと視点を変えまして、今度は危険な河川沿いの道路や管理についてお伺いします。

市の管理河川や県管理の河川沿いの市の認定道路は、通学路や日常市民が利用する道路でございます。平常時ではさほど危険と感じませんが、梅雨どきやゲリラ豪雨では増水し、とても危険でございます。しかし、そんな増水した河川沿いを通らなければ学校や買物、仕事の往復もできません。このような箇所についての安全対策についてはどのように考えておられるのか、その辺をお聞かせください。

○都市創造部長 河川沿いの市の管理してる道路につきましては、全てではございませんが、自治会様のご要望により転落防止柵を実施しているところでございます。今後も自治会等のご要望があれば、河川管理者である奈良県と協議しながら、転落防止柵の安全対策を実施してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○中村良路 ありがとうございます。引き続き安全管理に努めていただきたいと思います。

例えばすがる川でございますが、本当に増水時にはかなりの水量があり、堤防のほとんど上まで水が達するというときがございます。そのために、その河川のそばの民家の方は雨が降るたびに本当に危険を感じておられるところがございます。また、竹田川では平時においてでございますが、転落防止柵のない川に転落して命を落とされたという、そんな事故もございました。こういったことがありましたので、ぜひとも安全対策には本当によろしくお願いを申し上げ、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。